

利用成果報告書

1 課題番号 H30-I18

2 報告者 石本 遊 東京大学大学院医学系研究科

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 マウス腎系球体上皮細胞の弾性が腎保護に働くか否かの検証

5 使用装置名 原子間力顕微鏡

6 利用期間 平成 30 年 1月 1日 ~ 平成 30 年 7月 1日

7 利用成果・実績の概要 原子間力顕微鏡による解析により、Cortavtinのノックアウトマウスにおけるpodocyteは、野生型マウスのpodocyteと比較し、弾性率が低いことが確認された。また、培養Podocyteでcortactinをノックダウンした場合にも、同様に弾性率が低くなることが確認された。

8 社会・経済への波及効果 現時点では波及効果はない。

9 学会等における口頭・ポスター発表

| 発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別) | 発表者氏名 | 発表した場所(学会等名) | 発表した時期 | 国内・外の別 |
|--------------------------|-------|--------------|--------|--------|
| 口頭 | 石本 遊 | 日本腎臓学会学術総会 | H30年6月 | 国内 |

10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し